本文

官報　第七千九百二號　明治四十二年十月二十五日　月曜日　印刷局

○勅令

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ臺灣總督府官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎
内務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第二百七十號

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第十七條中「警察本署及左ノ五局」ヲ「左ノ四局及番務本署」ニ、「總務局」ヲ「内務局」ニ改メ「土木局」ヲ削ル

第十八條中「警察本署及」ヲ削リ各局ノ下ニ「及番務本署」ヲ加フ

第十九條中「警視總長一人勅任又ハ奏任」ヲ削リ局長ノ次ニ「番務總長一人勅任又ハ奏任」ヲ加ヘ「局長五人」ヲ「局長四人」ニ、「專任四人奏任」ヲ「專任四人奏任（内一人ヲ勅任トスコトヲ得）」ニ、「十二人」ヲ「十八人」ニ、「警視專任三人」ヲ「警視專任五人」ニ、「專任二人」ヲ「專任一人」ニ、「稅務官專任三人」ヲ「稅務官專任二人」ニ、「二十三人」ヲ「十九人」ニ、「内二人」ヲ「内一人」ニ、「海事官專任三人」ヲ「海事官專任二人」ニ、「專任五人」ヲ「專任三人」ニ、「三百二十七人」ヲ「三百六人」ニ、「二十二人」ヲ「十九人」ニ、「四十三人」ヲ「三十八人」ニ改ム

第二十一條　局長ハ總督及民政長官ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌理シ及局中各課ノ事務ヲ指揮監督ス

第二十二條　番務總長ハ番務本署ノ長ト爲リ總督及民政長官ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌理シ其ノ事務ノ執行ニ關シ廳長及警察官ヲ指揮監督ス

第二十三條　總督府ニ警視總長ヲ置キ内務局長ヲ以テ之ニ充ツ

警視總長ハ總督及民政長官ノ命ヲ承ケ警察事務ノ執行ニ關シ廳長及警察官ヲ指揮監督ス

第二十六條及第三十一條中「警察本署」ヲ「内務局又ハ番務本署」ニ改ム

第二十六條ノ二、第二十六條ノ三、第三十一條ノ二及第三十一條ノ三中「總務局」ヲ「内務局」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府土木部官制ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎
内務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第二百七十一號

臺灣總督府土木部官制

第一條　臺灣總督府土木部ハ臺灣總督ノ管理ニ屬シ左ノ事務ヲ掌ル

一　土木ニ關スル事項
二　築港ニ關スル事項
三　灌漑及排水ニ關スル事項
四　營繕ニ關スル事項
五　電氣事業ニ關スル事項但シ電信電話ヲ除ク
六　水力ノ利用ニ關スル事項

第7902号

第二條　臺灣總督府土木部ニ左ノ職員ヲ置ク

部長	專任六人	奏任
次長	專任二十一人	奏任（內二人ヲ勅任トスルコトヲ得）
事務官	專任七十四人	判任
技師	專任八十三人	判任
書記	專任二人	判任
技手		
通譯		

第三條　部長ハ臺灣總督府民政長官ヲ以テ之ニ充ツ臺灣總督ノ指揮監督ヲ承ケ部務ヲ總理ス

部長ハ所部ノ官吏ヲ指揮監督シ奏任官ノ進退ハ之ヲ臺灣總督ニ具狀シ判任官以下ノ進退ハ之ヲ行フ

第四條　次長ハ臺灣總督府土木部勅任官ヲ以テ之ニ充ツ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

第五條　事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌ル

第六條　技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第七條　書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第八條　技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第九條　通譯ハ上官ノ指揮ヲ承ケ通譯ニ從事ス

第十條　臺灣總督ハ必要ト認ムル地ニ出張所ヲ置クコトヲ得

第十一條　出張所長ハ事務官、技師又ハ出張所所在地ノ廳長ヲ以テ之ニ充ツ

部長ノ指揮監督ヲ承ケ出張所ノ事務ヲ掌理ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臨時臺灣工事部官制ハ之ヲ廢止ス

臨時臺灣工事部職員ニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ職ニ在ル者別ニ辭令書ヲ交付セラレサルトキハ技師ハ臺灣總督府土木部技師ニ、書記ハ臺灣總督府土木部書記ニ、技手ハ臺灣總督府土木部技手ニ、通譯ハ臺灣總督府土木部通譯ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

朕臺灣總督府鐵道部官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助

內務大臣

勅令第二百七十二號

臺灣總督府鐵道部官制中左ノ通改正ス

第二條中「六人」ヲ「五人」ニ、「十一人」ヲ「九人」ニ、「二百六十一人」ヲ「二百二十二人」ニ、「七十七人」ヲ「六十八人」ニ改メ「通譯專任六人判任」ヲ削ル

第九條　削除

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府專賣局官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助

內務大臣

勅令第二百七十三號

臺灣總督府專賣局官制中左ノ通改正ス

第三條中「十八」ヲ「七人」ニ、「百五人」ヲ「八十九人」ニ、「三十八人」ヲ「三十二人」ニ、「八人」ヲ「七人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府稅關官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助

內務大臣

勅令第二百七十四號

臺灣總督府稅關官制中左ノ通改正ス

第四條中「專任二人奏任」ヲ「六十八人ヲ「五十一人」ニ、「二十六人ヲ「二十二人」ニ、「二十七人ヲ「二十三人」ニ、「二百十四人ヲ「百八十二人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第二百七十五號

臺灣總督府國語學校官制中左ノ通改正ス

第七條中「六人」ヲ「五人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府中學校官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助

內務大臣

勅令第二百七十六號

臺灣總督府中學校官制中左ノ通改正ス

第一條中「五人」ヲ「四人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府醫學校官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助

內務大臣

勅令第二百七十七號

臺灣總督府醫學校官制中左ノ通改正ス

第四條及第六條中「七人」ヲ「六人」ニ改ム

許可 7902 本

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府警察官及司獄官練習所官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百七十八號

臺灣總督府警察官及司獄官練習所官制中左ノ通改正ス

第七條中「五人」ヲ「四人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府郵便局官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百七十九號

臺灣總督府郵便局官制中左ノ通改正ス

第四條中「五人」ヲ「三人」ニ、「五百三十七人」ヲ「四百七十五人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府監獄官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十號

臺灣總督府監獄官制中左ノ通改正ス

第二條中「四十八人」ヲ「四十二人」ニ、「十二人」ヲ「九人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府農事試驗場官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十一號

臺灣總督府農事試驗場官制中左ノ通改正ス

第二條中「十九人」ヲ「十七人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ臺灣總督府地方官官制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十二號

臺灣總督府地方官官制中左ノ通改正ス

第一條中「基隆廳」、「深坑廳」、「苗栗廳」、「彰化廳」、「斗六廳」、「鹽水港廳」、「蕃薯寮廳」、「鳳山廳」及「恆春廳」ヲ削リ「臺東廳ノ次ニ花蓮港廳」ヲ加フ

第二條中「技師奏任」ヲ削リ「臺北廳及臺東廳ニ警視各一人」ヲ「各廳ヲ通シテ事務官十五人警視十一人及技師十二人」ニ、「警視」ヲ「事務官警視及技師」ニ改ム

第三條第一項ヲ削リ第二項中「千六百十四人」ヲ「千五百十四人」ニ改ム

第九條中「警視」ヲ「事務官及警視」ニ改ム

第十一條中「警視」ヲ「事務官警視」ニ改ム

第十二條ノ二中「事務官ハ廳長ノ命ヲ承ケ廳務ヲ掌ル」ヲ削ル

第十二條中「五人」ヲ「十人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府職員官等俸給令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十三號

臺灣總督府職員官等俸給令中左ノ通改正ス

第二條中「勅任警視總長、勅任局長、勅任專賣局長」ヲ「局長、審務總長、勅任參事官、專賣局長」ニ改ム

高等文官官等表中警視總長ノ項ヲ削リ局長及專賣局長ノ各項中四等ノ欄「同上」ヲ削ル

同表中局長ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

		審務總長	同	上		

同表中參事官ノ項ヲ左ノ如ク改ム

		參事官	同	上同	上同	上

同表中警視ノ項ヲ左ノ如ク改ム

		警視	同	上同	上同	上

同表中編修官ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ臨時臺灣工事部事務官ノ項ヲ削ル

		土木部事務官	同	上同	上同	上

同表中專賣局事務官及審務局事務官ノ二項ヲ左ノ如ク改ム

		專賣局事務官	同	上同	上同	上
		審務局事務官	同	上同	上同	上

同表中廳長ノ項七等ノ欄「同上」ヲ削リ廳長ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

				廳事務官	同	上同	上同	上

同表中廳警視ノ項ヲ左ノ如ク改ム

			廳警視	同	上同	上同	上

高等文官俸給表中警視總長、局長及專賣局長ノ各項ヲ削ル

許可 7902 号

同表中參事官ノ項十一級及十二級ノ各欄同上」ヲ削ル

同表中警視ノ項ヲ左ノ如ク改ム

警視	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

同表中編修官ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ臨時臺灣工事部事務官ノ項ヲ削ル

土木部事務官	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

同表中專賣局事務官及糖務局事務官ノ二項ヲ左ノ如ク改ム

專賣局事務官	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
糖務局事務官	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

同表中廳長ノ項九級及十級ノ各欄同上」ヲ削リ廳長ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

廳事務官	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

同表中廳警視ノ項ヲ左ノ如ク改ム

廳警視	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

高等文官官等相當俸給表中

局長 專賣局長	警視總長ノ項ヲ左ノ如ク改ム								
參事官	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級

同表中「參事官」、「警視」、「臨時臺灣工事部事務官」、「專賣局事務官」及「糖務局事務官」ヲ削リ「祕書官ノ次ニ」ヲ加フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府專賣局事務官特別任用令ニ依リ任用セラレタル臺灣總督府專賣局事務官ハ高等官三等ニ陞敘スルコトヲ得ス

朕臺灣總督府法院職員官等俸給及定員令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十四號

臺灣總督府法院職員官等俸給及定員令中左ノ通改正ス

第二條中「二人」ヲ「三人」ニ、「十七人」ヲ「十四人」ニ、「二八人」ヲ「五人」ニ改ム

第三條中「百九十一人」ヲ「百六十四人」ニ改ム

第四條中「三十五人」ヲ「二十九人」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ臺灣總督府土木部事務官特別任用令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十五號

臺灣總督府土木部事務官特別任用令

臨時臺灣工事部官制廢止ノ際現ニ臨時臺灣工事部事務官タル者又ハ三年以上土木、水利、電氣、礦業若ハ會計ニ關スル事務ニ從事シ現ニ判任官三級俸以上ノ職ニ在ル者ハ本令施行ノ際ニ限リ文官高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ臺灣總督府土木部事務官ニ任用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ任用セラレタル者ハ高等官三等ニ陞敘スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ臺灣總督府警視特別任用令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十六號

審務ニ從事スル臺灣總督府警視特別任用令

審務ニ從事スル臺灣總督府警視ハ五年以上審務又ハ警察事務ニ從事シ現ニ判任官二級俸以上ノ職ニ在ル者ノ中ヨリ文官高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ任用セラレタル者ハ高等官三等ニ陞敘スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣總督府警視特別任用令ハ之ヲ廢止ス

前項ノ特別任用令ニ依リ任用セラレタル臺灣總督府警視ハ本令ニ依リ任用セラレタルモノト看做ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ臺灣總督府廳事務官及廳警視特別任用令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十七號

臺灣總督府廳事務官及廳警視特別任用令

五年以上行政事務ニ從事シ現ニ判任官三級俸以上ノ職ニ在ル者ハ臺灣總督府廳事務官ニ、五年以上警察事務ニ從事シ現ニ判任官三級俸以上ノ職ニ在ル者ハ臺灣總督府廳警視ニ文官高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ任用スルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ臺灣總督府專賣局事務官特別任用令ヲ廢止ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十八號

臺灣總督府專賣局事務官特別任用令ハ之ヲ廢止ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府警察官服制中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
法學博士男爵平田東助
內務大臣

勅令第二百八十九號

臺灣總督府警察官服制中左ノ通改正ス

7902
本文

別表中「警視總長」ヲ「警視總長及審務總長」ニ「警視總長警視及廳警視」ヲ「警視總長審務總長警視及廳警視」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕明治三十六年勅令第百四十五號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
內務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第二百九十號

明治三十六年勅令第百四十五號中左ノ通改正ス

第一條中「警察本署」ヲ「內務局」ニ改ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕臺灣總督府地方廳ニ稅務吏ヲ置クノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
內務大臣　法學博士男爵平田東助

勅令第二百九十一號

臺灣總督府地方廳ニ稅務吏ヲ置キ徵稅ノ事務ニ從事セシム

稅務吏ハ判任トシ其ノ定員ハ臺灣總督之ヲ定ム

稅務吏ノ月俸ハ十五圓以上三十圓以下トシ地方稅ノ支辨トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕韓國軍人軍屬ノ犯罪審判ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
陸軍大臣　子爵寺內正毅

勅令第二百九十二號

第一條　韓國駐箚軍ニ特別陸軍軍法會議ヲ置ク

特別陸軍軍法會議ハ韓國軍人軍屬ノ犯罪ヲ審判ス

第二條　韓國駐箚軍司令官ハ特別陸軍軍法會議ニ關シ韓國駐箚軍軍法會議ニ於ケルト同一ノ職權ヲ有ス

第三條　特別陸軍法會議ニ於テハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外韓國法規ヲ適用ス

第四條　韓國軍人軍屬ニシテ帝國陸軍ノ指揮ヲ受ケ又ハ之ニ附屬スル者ノ帝國、帝國ノ陸軍又ハ陸軍軍人軍屬ニ對スル行爲ハ其ノ官等、階級ニ依リ帝國ノ陸軍軍人軍屬ノ行爲ト看做シ陸軍刑法ヲ適用ス

帝國陸軍ノ指揮ヲ受ケ又ハ之ニ附屬スル韓國軍人軍屬ハ帝國ノ陸軍軍人軍屬ト看做シ前項ヲ適用ス

第五條　特別陸軍軍法會議ノ構成、權限及治罪ニ關スル手續ハ左ニ揭クルモノヲ除クノ外韓國駐箚軍軍法會議ノ例ニ依ル

一　將官又ハ其ノ同等官ニ相當スル者ノ犯罪及陸軍治罪法第九十五條、第九十六條ノ再審ト雖韓國駐箚軍司令官ノ命令ニ依リ其ノ審判ヲ爲ス

二　被告人ノ官等、階級ニ拘ラス佐官ヲ以テ判士長ニ尉官ヲ以テ判士ニ充ツ但シ被告人將官又ハ其ノ同等官ニ相當スル者ナルトキハ將官ヲ以テ判士長ニ、將官又ハ佐官ヲ以テ判士ニ充ツ

三　判士長判士ハ韓國駐箚軍司令官部下ノ將校中ヨリ之ヲ命ス

四　判士中一人ハ韓國將校ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

五　陸軍治罪法第八十七條ノ各號ノ一ニ該ル場合ト雖韓國駐箚軍司令官直ニ裁判宣告ノ命令ヲ下ス

六　拘留又ハ科料ニ該ル罪ナルトキハ被告人ヲ訊問セス書類ニ依リ審判スルコトヲ得

第六條　假出獄ニ關スル規定ハ韓國法規ニ依リ處斷セラレタル者ニ亦之ヲ適用ス

第七條　前二條ノ適用及刑ノ執行ニ關シテハ左ノ對照ニ依リ韓國法規ノ刑名ヲ刑法ノ刑名ト看做ス

韓國法規ノ刑	刑法ノ刑
死刑	死刑
流刑	禁錮
役刑	懲役
禁獄	禁錮
罰金	罰金
拘留	拘留

第八條　拘禁及刑ノ執行ハ帝國陸軍軍人軍屬ノ例ニ依ル但シ笞刑ノ執行方法ハ韓國法規ニ依リ之ヲ執行スヘキ場所ハ韓國駐箚軍司令官之ヲ定ム

韓國軍人軍屬ノ身分ヲ失ヒタル受刑者ニ付テハ統監府監獄ニ於テ其ノ刑ヲ執行ス

第九條　韓國軍人軍屬ニ對スル死刑ハ韓國ノ國忌慶節日ニハ之ヲ執行セス

第十條　本令ニ於テ韓國軍人ト稱スルハ現役及召集中ノ豫備又ハ後備ノ韓國軍人ヲ謂フ

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕特許法、意匠法、商標法及實用新案法施行期日ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
農商務大臣　男爵大浦兼武
司法大臣　子爵岡部長職

勅令第二百九十三號

特許法、意匠法、商標法及實用新案法ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕特許登錄令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
農商務大臣　男爵大浦兼武
司法大臣　子爵岡部長職

勅令第二百九十四號

特許登錄令

第一章　總則

第一條　特許ニ關スル登錄ハ左ニ揭ケタル事項ニ付之ヲ爲ス

一　特許權ノ實施權、使用權及此等ノ權利ヲ目的トスル質權ノ設定、保存、移轉、變更、消滅、處分ノ制限又ハ特許法第四十四條ノ制限

二　特許ノ效力又ハ特許權ノ範圍ニ關スル確定審決又ハ判決

三　特許法第十三條第一項ノ規定ニ依ル代理人ノ選任若ハ變更又ハ其ノ代理權ノ變更若ハ消滅

第二條　假登錄ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

一　登錄ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セサルトキ

二　前條第一號ニ揭ケタル權利ノ設定、移轉、變更又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セムトスルトキ、其ノ請求權カ始期附又ハ停止條件附ナルトキ亦同シ

將來ニ於テ確定スヘキモノナルトキ亦同シ

第三條　豫告登錄ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

一　登錄原因ノ無效又ハ取消ニ依ル登錄ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタ

第七九〇二號

ルトキ他ノ登録原因ノ証消ニ依ル証ヲ以テ其ノ取消ヲ請求ノ節

二　三者ニ訴抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

特許権又ハ特許権ノ設定ノ登録ノ抹消ノ登録ノ訂正ノ登録ノ移転ノ登録ノ信託ノ登録ノ処分ノ制限ノ登録ノ消滅ノ登録ノ質権ノ登録ノ質権ノ処分ノ制限ノ登録ノ消滅ノ登録ノ抵当権ノ登録ノ抵当権ノ処分ノ制限ノ登録ノ消滅ノ登録ノ仮登録ノ登録ノ抹消ノ登録ノ仮登録ノ抹消

第三十六條　登錄ヲ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ハ第二十七條ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテ亦之ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ通知ヲ受クヘキモノ多數ナル場合ニ於テ其ノ代表者ナキトキハ其ノ一人ニ通知スルヲ以テ足ル

第三十七條　抹消シタル登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第三十八條　特許權又ハ之ニ關スル權利ニシテ工場財團ニ屬スルコトノ登錄アルモノニ付變更、制限又ハ消滅アリタルトキハ特許局長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ

第二節　特許權、實施權及使用權ニ關スル登錄手續

第三十九條　特許權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ追加特許權アルトキハ同時ニ其ノ移轉ノ登錄ヲ申請スヘシ

第四十條　特許權ノ制限附移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ制限ヲ記載シ尙登錄原因ニ報酬又ハ其ノ支拂時期ノ定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第四十一條　實施權ノ設定又ハ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ範圍ヲ記載シ尙登錄原因ニ存續期間、報酬又ハ其ノ支拂時期ノ定アルトキ又ハ實施權ノ移轉ヲ許シタルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

實施權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル者之ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ヲ準用ス

第三節　質權ニ關スル登錄手續

第四十五條　質權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權ノ目的タル權利及債權額ヲ記載シ尙登錄原因ニ存續期間、辨濟期、利息、違約金若ハ賠償額ニ關スル定アルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

第四十六條　質權ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權ノ目的タル權利ヤ否ヤヲ記載スヘシ

第四十六條　一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル質權ノ設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權ノ價格ヲ記載スヘシ

第四十七條　債權ノ一部讓渡又ハ代位辨濟ニ依ル質權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スヘシ

第四十八條　未登錄ノ制限附特許權又ハ未登錄ノ特許權以外ノ權利ヲ目的トスル質權ニ關スル登錄ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第四十九條　前條ノ規定ハ未登錄ノ制限附特許權又ハ未登錄ノ特許權以外ノ權利及之ヲ目的トスル質權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登錄ニ之ヲ準用ス

第五十條　第二十二條又ハ第二十三條ノ規定ニ依リ官廳又ハ公署カ未登錄ノ權利ニ關スル登錄ヲ囑託スル場合ニ於テハ裁判ニ依リテ其ノ權利ヲ證スルコトヲ要セス

第四節　抹消ニ關スル登錄手續

第五十一條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ拋棄ニ依ル登錄ノ抹消ハ登錄名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第五十二條　登錄シタル權利カ或人ノ死亡ニ依リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死亡ヲ證スル戶籍吏ノ書面其ノ他之ニ相當スル書面ヲ添附スルトキハ登錄權利者ノミニテ登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第五十三條　登錄權利者カ登錄義務者ノ行方ノ知レサルニ依リ之ト共ニ登錄ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ謄本ヲ添附シ登錄權利者ノミニテ登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書又ハ元本ノ受取證書及登錄セラレタル債務辨濟ノ證書ヲ添附シタルトキハ登錄權利者ノミニテ質權ニ關スル登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第五十四條　登錄ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ抹消ニ付登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第五十五條　假登錄ノ抹消ハ假登錄名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

申請書ニ假登錄名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル者ヨリ假登錄ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第五十六條　第二條第一號ノ場合ニ於テ訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判カ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリタルトキハ第一審裁判所ハ遲滯ナク囑託書ニ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若ハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登錄ノ抹消ヲ特許局ニ囑託スヘシ

第三條第二號ノ場合ニ於テ審判ノ請求ヲ却下シタル審決又ハ請求ヲ否認シタル審決確定シタルトキ、審判請求ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ、請求ヲ否認スル判決アリタル場合又ハ權利確認ノ査定若ハ之ニ對スル審決確定シ又ハ判決アリタル爲出願カ特許又ハ許可スヘカラサルモノト決定シタルトキハ特許局長ハ特許原簿ノ豫告登錄ノ抹消スヘシ

第三章　異議及訴願

第五十七條　登錄ニ關スル處分ヲ不當トスル者ハ處分ノ了リタル日ヨリ三十日以內ニ特許局長ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得

第五十八條　異議ノ決定ハ理由ヲ附シテ之ヲ爲スヘシ

決定ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得

附　則

本令ハ特許法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

舊特許原簿ハ之ヲ特許原簿ト看做ス

本令施行前ノ特許發明ノ明細書及圖面ハ之ヲ舊特許原簿ノ一部ト看做ス

本令施行前登錄セラレタル權利ニ關シ登錄ノ申請アリタル場合ニ於テ抹消ヲ除クノ外新特許原簿ニ舊特許原簿中抹消ニ係ラサル登錄ヲ移シ舊特許原簿中新特許原簿ニ移シタル登錄ヲ抹消スヘシ

脫意匠ノ登錄ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎

農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第二百九十五號

意匠ノ登錄ニ關シテハ特許登錄令ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依リ特許登錄令ヲ準用スル場合ニ於テ同令中ニ引用シタル特許法ノ條項ハ意匠法第十條第二項及第二十二條ノ規定ニ依リ準用シタル特許法ノ條項ニ該當ス

意匠權ヲ分割シテ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ共ノ移轉スル意匠ヲ應用スル物品ヲ申請書ニ記載スヘシ

附　則

本令ハ意匠法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ意匠權ノ設定ニ係ル願書中請求範圍及案出者ニ關スル部分、圖面及圖面ニ代ルモノハ之ヲ舊意匠原簿ノ一部ト看做ス

脫商標ノ登錄ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎

農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第二百九十六號

第一條　商標ノ登錄ニ關シテハ特許登錄令ヲ準用ス

第二條　前條ノ規定ニ依リ特許登錄令ヲ準用スル場合ニ於テ同令中ニ引用シタル特許法ノ條項ハ商標法第二十一條ノ規定ニ依リ準用シタル特許法ノ條項ニ該當ス

第三條　商標權設定ノ登錄アリタルトキハ登錄願書ニ貼付シタル商標ノ見本ハ之ヲ商標原簿ノ一部ト看做ス

第四條　商標權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ營業ヲ共ニスルコトヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スヘシ

第五條　聯合商標ノ一商標權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ同時ニ他ノ商標權移轉ノ登錄ヲ申請スヘシ

第六條　商標權ヲ分割シテ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ其ノ移轉スル商標ヲ使用スル商品ヲ申請書ニ記載スヘシ

第七條　營業ノ廢止ニ依ル商標權ノ登錄ノ抹消ハ登錄名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

特許 7902 号

登錄ノ一部抹消ノ場合ニ於テハ申請書ニ營業ヲ廢止シタル商品ヲ記載スヘシ

第八條　本令ハ商標法第二十條ノ規定ニ依ル標章ニ關スル登錄ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ商標法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ商標權ノ設定ニ係ル願書ニ貼付シタル見本及明細書ハ之ヲ舊商標原簿ノ一部ト看做ス

朕實用新案ノ登錄ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎

農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第二百九十七號

實用新案ノ登錄ニ關シテハ特許登錄令ヲ準用ス但シ使用權設定ノ登錄ニ關シテハ同令第十條第二項及第四十二條ノ例ニ依ル

前項ノ規定ニ依リ特許登錄令ヲ準用スル場合ニ於テ同令中ニ引用シタル特許法ノ條項ハ實用新案法第二十條ノ規定ニ依リ準用シタル特許法ノ條項ニ該當ス

附　則

本令ハ實用新案法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ實用新案權ノ設定ニ係ル願書中請求範圍及考案者ニ關スル部分解說書及圖面ハ之ヲ舊實用新案原簿ノ一部ト看做ス

朕特許權ノ存續期間延長ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎

農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第二百九十八號

第一條　重要ナル發明ノ特許權者ニシテ正當ノ事由ニ依リ其ノ特許權存續期間內ニ其ノ發明ヨリ生スヘキ相當ノ利益ヲ得ルコト能ハサリシ場合ニ於テハ其ノ存續期間ノ延長ヲ出願スルコトヲ得

軍事上祕密ヲ要スル發明ニ係ル特許權ニシテ國ニ關スルモノニ付主務大臣ニ於テ其ノ存續期間ノ延長ヲ必要ト認メタル場合亦前項ニ同シ

第二條　存續期間ノ延長ヲ出願スル者ハ存續期間滿了ノ日ヨリ六月以前ニ其ノ願書ニ特許權發生後ニ於ケル特許發明實施ノ狀況、其ノ發明ニ依リテ受ケタル利益竝相當ノ利益ヲ得サリシ事由ヲ詳記シタル書面ヲ添附シ特許局長ヲ經由シテ之ヲ主務大臣ニ差出スヘシ

願書ニハ左ノ事項ヲ記載シ出願人署名捺印スヘシ

一　特許番號

二　發明ノ名稱

三　出願人ノ氏名又ハ名稱住所

四　延長ノ期間

五　出願ノ要旨及理由

前條第二項ノ規定ニ依ル出願ニ付テハ第一項ノ期間及出願書ニ添附スヘキ書面ニ關スル規定ハ之ヲ適用ス

第三條　特許局長ハ意見書ヲ作リ之ヲ前條ノ願書ニ添附スヘシ

第四條　存續期間延長ノ出願アリタルトキハ主務大臣ハ五人又ハ七人ノ審查委員ヲ命シ之ヲ審查セシムヘシ

第五條　前條ノ審查ヲ終リタルトキハ主務大臣ハ出願ノ許否ヲ決定スヘシ

決定ニハ理由ヲ附スヘシ

決定ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ決定書ヲ出願人ニ送付スヘシ

主務大臣ハ出願ニ係ル期間ヲ短縮シ又ハ制限ヲ附シテ出願ヲ許可スルコトヲ得

第六條　第一條第二項ノ規定ニ依ル出願アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ出願ヲ許可スヘシ此ノ場合ニ於テハ第三條乃至第五條ノ規定ハ之ヲ適用ス

第七條　期間延長ノ許可アリタルトキハ特許局長ハ之ヲ特許原簿ニ登錄シ特許證ヲ下付スヘシ

附　則

本令ハ特許法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕軍事上祕密ヲ要スル發明ノ特許ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎

農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第二百九十九號

第一條　軍事上祕密ヲ要スル發明ニ付主務大臣ニ於テ特許ノ出願又ハ特許權ノ改訂若ハ分割許可ノ出願ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ發明ノ明細書及圖面ヲ密封シ之ニ封印スヘシ

第二條　軍事上祕密ヲ要スル發明ニ付特許ノ出願又ハ特許權ノ改訂若ハ分割許可ノ出願アル場合ニ於テ主務大臣ノ請求アルトキハ特許局長ハ遲滯ナク其ノ發明ノ明細書圖面其ノ他祕密ヲ要スル物件ヲ密封シ之ニ封印スヘシ

第三條　發明ニ付特許ノ出願又ハ特許權ノ改訂若ハ分割許可ノ出願アル場合ニ於テ軍事上祕密ヲ要スルモノト認ムルトキハ特許局長ハ遲滯ナク之ヲ主務大臣ニ移牒シ意見ヲ求ムヘシ

第四條　第一條及第二條ノ場合ニ於テハ特許局長ハ査定ヲ經スシテ特許又ハ許可ノ處分ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ之ヲ特許原簿ニ登錄シ特許證ヲ下付スヘシ

第五條　軍事上祕密ヲ要スル爲密封シタル書類又ハ物件ハ主務大臣ノ請求又ハ承諾アリタル場合ヲ除クノ外之ヲ開封スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ開封シタル書類又ハ物件ハ特許局長更ニ密封シ之ニ封印スヘシ

第六條　主務大臣必要アル場合ニ於テハ特許局長ニ對シ軍事上祕密ヲ要スル爲密封シタル書類及物件ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル書類及物件ハ還付前主務大臣ニ於テ更ニ密封シ之ニ封印スヘシ

第七條　軍事上祕密ヲ要スル特許發明ニ對スル審判又ハ抗告審判ノ請求書ハ主務大臣ニ於テ密封シタル書類又ハ物件ノ開封ヲ承諾シタル場合ニ限リ之ヲ受理スルコトヲ得

第八條　軍事上祕密ヲ要シタル發明ニシテ之ヲ祕密ニスルノ必要ナキニ至リタル旨主務大臣ノ通知アリタルトキハ特許局長ハ其ノ發明ヲ特許發明ノ明細書及特許公報ニ記載スヘシ

第九條　軍事上祕密ヲ要スル特許發明ニ關スル審判ノ口頭審理ハ之ヲ公開セス

第十條　前數條ノ規定ハ軍事上祕密ヲ要スル實用新案ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ特許法及實用新案法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕特許辨理士令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎

農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第三百號

特許辨理士令

第一條　帝國內ニ住所ヲ有スル成年以上ノ能力者ニシテ特許辨理士試驗ニ合格シタル者ハ特許辨理士タル資格ヲ有ス

特許辨理士試驗ニ關スル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

第二條　左ニ揭クル者ハ試驗ヲ要セスシテ特許辨理士タル資格ヲ有ス

一　辯護士タル資格ヲ有スル者

二　文官高等試驗又ハ判事檢事登用試驗ニ合格シタル者

三　一年以上特許局若ハ統監府特許局ノ高等文官タリシ者又ハ二年以上特許局審查官補若ハ統監府特許局審查官補タリシ者

第三條　左ニ揭クル者ハ特許辨理士試驗委員ノ詮衡ニ依リ試驗ヲ要セスシテ特許辨理士タル資格ヲ有ス

一　學位ヲ有スル者

二　帝國大學分科大學又ハ之ト學科程度同等以上ト認ムル內外國ノ學校ニ於テ定規ノ課業ヲ卒ヘタル者

特許 7902 号

第四條　左ニ掲クル者ハ特許辨理士タルコトヲ得ス

一　特許法第九十二條第九十三條第九十七條意匠法第二十四條第二十五條第二十九條商標法第二十三條第二十四條第二十八條又ハ實用新案法第二十二條第二十三條第二十七條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタル者但シ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ三年ヲ經過シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

二　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ三年ヲ經過シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

三　破產者ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

四　業務停止ノ期間中業務ヲ廢止シ未タ其ノ期間ノ經過セサル者又ハ業務禁止ノ處分アリタル日ヨリ三年ヲ經過セサル者

第五條　特許辨理士タラムトスル者ハ特許辨理士登錄簿ニ登錄ヲ受クヘシ

前項ノ登錄ヲ受ケムトスル者ハ其ノ住所、氏名及事務所ヲ記載シタル請求書ニ履歷書及登錄ニ必要ナル資格ヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ特許局長ニ請求スヘシ

第六條　特許辨理士ノ登錄ヲ受ケムトスル者ハ手數料トシテ金十圓ヲ納ムヘシ

前項ノ手數料ハ收入印紙ヲ請求書ニ貼付シ之ヲ納ムヘシ

第七條　特許辨理士ノ登錄ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ登錄ヲ拒否シタルトキハ特許局長ハ之ヲ請求人ニ通知スヘシ

第八條　特許辨理士ノ登錄ノ拒否ニ對シ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第九條　特許辨理士ハ特許辨理士登錄簿ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　特許辨理士ノ氏名住所

二　事務所

三　登錄ノ年月日

四　懲戒

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ特許局長ハ特許辨理士ノ登錄ヲ抹消スヘシ

一　特許辨理士死亡シ若ハ業務ヲ廢止シタルトキ又ハ業務ヲ禁止セラレタルトキ

二　特許辨理士タルノ資格ヲ具ヘサルカ又ハ具ヘサルニ至リタルトキ

前項第二號ノ事由ニ依リ登錄ヲ抹消セムトスルトキハ特許辨理士試驗委員ノ議ヲ經ヘシ

第十一條　前條第一項第二號ノ事由ニ依リ登錄ヲ抹消シタルトキハ特許局長ハ之ヲ特許辨理士ニ通知スヘシ

第十二條　第十條第一項第二號ノ事由ニ依ル登錄ノ抹消ニ對シ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第十三條　特許辨理士登錄簿ノ登錄又ハ其ノ抹消若ハ回復ハ官報、特許公報、商標公報及實用新案公報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第十四條　第九條第一號若ハ第二號ノ事項ニ變更アリタルトキ又ハ業務ヲ廢止シタルトキハ特許辨理士ハ遲滯ナク之ヲ特許局長ニ屆出ツヘシ

特許辨理士死亡シタルトキハ其ノ相續人又ハ親族ヨリ遲滯ナク之ヲ特許局長ニ屆出ツヘシ

第十五條　特許辨理士ハ左ニ掲クル事件ニ付其ノ業務ヲ行フコトヲ得ス

一　相手方ノ代理人トシテ取扱ヒタル事件

二　特許局ニ在職中取扱ヒタル事件

第十六條　特許辨理士組合ヲ設ケタルトキハ組合規約ヲ定メ特許局長ノ認可ヲ受クヘシ組合規約ヲ變更シタルトキ亦同シ

特許辨理士ノ組合ヲ解散シタルトキハ之ヲ特許局長ニ屆出ツヘシ

第十七條　特許辨理士ニシテ犯罪又ハ其ノ業務ニ關シ不正ノ行爲若ハ甚シキ怠慢アリタルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　業務ノ禁止

二　一年以內業務ノ停止

附　則

本令ハ特許法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

特許代理業者登錄規則ハ之ヲ廢止ス

舊特許法第四十五條第四十七條舊意匠法第十七條第十九條舊商標法第十六條第十七條舊實用新案法第四十六條、第四十八條又ハ特許代理業者登錄規則第十五條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ三年ヲ經過セサルトキハ特許辨理士タルコトヲ得ス

特許代理業者登錄規則ニ依ル特許代理業者名簿ハ本令ニ依ル特許辨理士登錄簿ト看做ス

朕特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル審判、抗告審判及出訴ニ關スル費用ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

勅令第三百一號

第一條　特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル審判及抗告審判ノ費用ノ負擔ニ付テハ民事訴訟法第七十二條乃至第七十八條、第八十條乃至第八十二條、第八十三條第一項及第八十六條ノ規定ヲ準用ス但シ再審查ノ查定ニ對スル抗告審判ノ費用ノ負擔ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條　再審查ノ查定ニ對スル抗告審判ニ關スル費用ハ各當事者ノ自辨トス

第三條　審判、抗告審判及抗告審判ニ對スル出訴ノ費用額ニ付テハ民事訴訟費用法ヲ準用ス

附　則

本令ハ特許法、意匠法、商標法及實用新案法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

舊特許法、舊意匠法及舊商標法ノ規定ニ依リ審決アリタルモノニ付本令施行後決定スヘキ費用ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

朕明治四十二年法律第三十一號中一部ニ關スル施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣兼大藏大臣　侯爵桂太郎

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎

農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第三百二號

明治四十二年法律第三十一號中登錄稅法第十一條乃至第十三條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル手數料ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎

農商務大臣　男爵大浦兼武

勅令第三百三號

第一條　特許法、意匠法、商標法若ハ實用新案法又ハ之ニ基キテ發スル勅令ニ依リ出願、請求若ハ屆出ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムヘシ

一	特許出願	每一件　金五圓
二	追加特許出願	每一件　金三圓
三	特許出願人ノ名義變更屆出	每一件　金二圓五十錢
四	追加特許出願人ノ名義變更屆出	每一件　金一圓五十錢
五	特許證複本ノ請求	每一件　金三圓
六	追加特許證複本ノ請求	每一件　金一圓五十錢
七	特許權存續期間延長ノ請求	每一件　金二十五圓
八	特許權改訂許可出願	每一件　金五圓
九	特許權分割許可出願	每一箇　金五圓
十	特許權取消ノ請求	每一件　金十圓
十一	意匠登錄出願	每一件　金一圓
十二	意匠ヲ祕密ニセムトスルノ請求	每一件　金一圓
十三	意匠登錄出願人ノ名義變更屆出	每一件　金五十錢
十四	意匠登錄證複本ノ請求	每一件　金一圓
十五	實用新案登錄出願	每一件　金一圓
十六	實用新案登錄出願人ノ名義變更屆出	每一件　金一圓
十七	實用新案登錄證複本ノ請求	每一件　金三圓
十八	商標又ハ標章ノ登錄出願	每一件　金一圓五十錢
十九	商標又ハ標章ノ登錄出願人ノ名義變更屆出	每一件　金一圓五十錢
二十	商標又ハ標章ノ登錄證複本ノ請求	每一件　金一圓五十錢
二十一	商標權又ハ標章權存續期間更新ノ登錄出願	每一件　金二圓

官報　第七九〇二號　明治四十二年十月二十五日（第三種郵便物認可）

本文 7902 号

二十二　商標又ハ標章登錄取消ノ請求　每一件　金五圓
二十三　法定ノ期間延長ノ請求　每一件　金五十錢
二十四　法定又ハ指定ノ期間懈怠ノ結果ヲ免レムトスルノ請求　每一件　金一圓
二十五　證明ノ請求　每一件　金五十錢
二十六　書類ノ謄本ノ請求　每一件　謄本一枚ニ付金十錢（文書類ノ謄本ハ百語ニ付金十錢ヲ以テス但シ書頭中國文ヲ用ヒタルモノ亦同シ但シ書頭中國文ヲ用ヒタルモノハ其ノ部分ニ關スル圖面ノ謄寫ノ例ニ依ル）
二十七　圖面ノ謄製ノ請求　每一件　金十錢（圖面一枚ニ付金三十錢以上金三十圓以下）
二十八　書類ノ閱覽ノ請求　每一件　一時間金二十五錢（但シ一時間ニ滿タサルモノハ一時間トス）
二十九　書類ノ謄寫ノ請求　每一件　金二圓
三十　再審査ノ請求　每一件　金十二圓
三十一　審判又ハ抗告審判ノ請求　每一件　金三圓
三十二　參加ノ請求　每一件　金一圓
三十三　費用額決定ノ請求
三十四　費用額決定又ハ補償金額確定審決ノ執行力アル正本ノ請求　每一件　金一圓

第二條　前條ノ規定ハ國ノ出願、請求又ハ屆出ニ之ヲ適用セス

第三條　第一條第十一號乃至第十三號、第十八號及第二十一號ニ規定スル手數料ハ同一物品ニ應用スル互ニ相類似スル意匠及聯合商標ニ在リテハ各其ノ半額トス

第四條　手數料ハ收入印紙ヲ願書、請求書又ハ屆出書ニ貼付シ之ヲ納ムヘシ

附　則

本令ハ特許法、意匠法、商標法及實用新案法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕韓國特許令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
外務大臣　伯爵小村壽太郎

勅令第三百四號

韓國特許令

第一條　韓國ニ於ケル特許ニ關シテハ特許法ニ依ル但シ同法中帝國トアルハ韓國ニ、外國トアルハ日本國及韓國以外ノ國ニ、特許局トアルハ統監府特許局ニ、區裁判所トアルハ統監府區裁判所ニ、大審院トアルハ統監府高等法院ニ、通常裁判所トアルハ統監府裁判所ニ該當ス

第二條　特許法第八條ノ政府ハ日本國ノ政府又ハ韓國ノ政府ニ、同法第十二條及第十八條ノ帝國ハ日本國又ハ韓國ニ該當ス但シ同法第十八條ノ場合ニ於ケル第十二條ノ代理人ハ韓國內ニ於ケル代理人ニ該當ス

第三條　特許法第三十條第二項ノ規定ニ依ル特許權存續期間ノ延長ニ關シテハ明治四十二年勅令第二百九十八號ニ依ル但シ同令中主務大臣トアルハ統監ニ、特許局長トアルハ統監府特許局長ニ該當ス

第四條　本令ハ日韓兩國ノ臣民ニ對シ發明ニ付同樣ノ保護ヲ與ヘ且韓國ニ於テ發明ノ保護ニ關シ治外法權ヲ行使セサル國ノ臣民及人民ニモ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

舊令ニ依リ受ケタル意匠ノ登錄ハ本令ニ依リ受ケタルモノト看做ス但シ舊令第四條及第五條ニ依ル特許ニ付テハ舊令第四條第一項但書第二項及第五條但書ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス

朕韓國意匠令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
外務大臣　伯爵小村壽太郎

勅令第三百五號

韓國意匠令

第一條　韓國ニ於ケル意匠ニ關シテハ意匠法ニ依ル

第二條　意匠法第四條ノ菊花御紋章ハ菊花御紋章又ハ李花御紋章ニ該當ス

第三條　韓國特許令第一條但書、第二條及第四條ノ規定ハ第一條ノ場合ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

舊令ニ依リ受ケタル意匠ノ登錄ハ本令ニ依リ受ケタルモノト看做ス但シ舊令第五條及第六條但書ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス

朕韓國商標令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
外務大臣　伯爵小村壽太郎

勅令第三百六號

韓國商標令

第一條　韓國ニ於ケル商標ニ關シテハ商標法ニ依ル

第二條　商標法第二條ノ菊花御紋章ハ菊花御紋章又ハ李花御紋章ニ、國旗軍旗勳章褒章、記章ハ日本國又ハ韓國ノ國旗軍旗勳章褒章、記章ニ、政府ハ日本國ノ政府又ハ韓國ノ政府ニ該當ス

第三條　韓國特許令第一條但書、第二條及第四條ノ規定ハ第一條ノ場合ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

舊令ニ依リ受ケタル商標ノ登錄ハ本令ニ依リ受ケタルモノト看做ス但シ舊令第五條ニ依ル登錄商標ニ付テハ舊令第五條但書ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス

朕韓國實用新案令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

內閣總理大臣　侯爵桂　太郎
外務大臣　伯爵小村壽太郎

勅令第三百七號

韓國實用新案令

第一條　韓國ニ於ケル實用新案ニ關シテハ實用新案法ニ依ル

第二條　實用新案法第四條ノ菊花御紋章ハ菊花御紋章又ハ李花御紋章ニ該當ス

第三條　韓國特許令第一條但書、第二條及第四條ノ規定ハ第一條ノ場合ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前日本國臣民、韓國臣民又ハ米國人民カ日本國ニ於テ受ケタル實用新案ノ登錄ハ本令ニ依リ受ケタルモノト看做ス但シ其ノ實用新案權ノ存續期間ハ日本國ニ於ケル存續期間ニ從フ

前項ノ實用新案權者ハ本令施行ノ際現ニ韓國ニ於テ該實用新案ヲ用ウル者及其ノ承繼人ニ對抗スルコトヲ得ス

本令施行前米國ニ於テ特許又ハ意匠ノ登錄ヲ受ケタル日本國臣民、韓國臣民又ハ米國人民ニシテ其ノ發明又ハ意匠ニ付本令施行ノ日ヨリ一年內ニ統監府特許局ニ實用新案ノ登錄ヲ出願スル場合ニ於テハ無料ニテ登錄ヲ受クルコトヲ得

朕韓國特許辨理士令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

許可 7902 号

明治四十二年十月二十三日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第三百八號

韓國特許辨理士令

韓國ニ於ケル特許辨理士ニ關シテハ特許辨理士令ニ依ル但シ同令中帝國內トアルハ日本國內又ハ韓國內ニ、特許辨理士試驗トアルハ同令第一條第二項ノ場合ヲ除クノ外特許辨理士試驗又ハ韓國特許辨理士試驗ニ、特許辨理士試驗委員トアルハ韓國特許辨理士試驗委員ニ、特許局長トアルハ統監府特許局長ニ、特許代理業者登錄規則トアルハ韓國特許代理業者登錄規則ニ、官報トアルハ統監府公報ニ該當ス

特許辨理士令第十五條第二項ノ特許局ハ特許局又ハ統監府特許局ニ、第十七條ノ主務大臣ハ統監ニ該當ス

韓國特許辨理士試驗ニ關スル事項ハ統監之ヲ定ム

附　則

本令ハ韓國特許令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第三百九號

韓國ニ於ケル特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル審判、抗告審判及出訴ノ費用ニ付テハ明治四十二年勅令第三百一號ニ依ル

朕韓國ニ於ケル特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル審判、抗告審判及出訴ノ費用ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎

勅令第三百十號

統監府特許局官制中改正ノ件

朕統監府特許局官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十二年十月二十三日

内閣總理大臣　侯爵桂太郎

本令ハ韓國特許令、韓國意匠令、韓國商標令及韓國實用新案令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

統監府特許局官制中左ノ通改正ス

第一條中「襲明」ノ下竝第四條及第五條中「特許」ノ下ニ「實用新案」ヲ加フ

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第三百十一號

明治四十一年勅令第二百一號中左ノ通改正ス

第一條中「商標權」ノ下ニ「實用新案權」ヲ加ヘ第二條中「商標法」ノ下ニ「實用新案法」ヲ加フ

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○省令

遞信省令第四十八號

明治三十五年八月遞信省令第三十六號電氣事業取締規則中左ノ通改正ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治四十二年十月二十五日　遞信大臣　男爵後藤新平

一第百十五條ニ左ノ一項ヲ加フ

第三十四條ニ依ル工事落成屆ハ第一項ニ依ラス直接電報又ハ電話ニ依リ屆出ツルコトヲ得但シ同時ニ其旨ヲ地方廳ニ申報スルコトヲ要ス

○告示

大藏省告示第百五十一號

明治三十五年五月大藏省告示第二十五號中臺北本金庫及同所屬各支金庫ノ出納區域ヲ左ノ通改正シ本年十月二十五日ヨリ施行ス

明治四十二年十月二十五日　大藏大臣　侯爵桂太郎

本金庫名	位置	區域	支金庫名	位置	出納區域
臺北	臺北縣大加納堡臺北城內文武街一丁目	臺灣總督府管內			
			淡水	臺北縣芝蘭三堡蘆尾街土名磚窯坑	臺北縣淡水及基隆支金庫ノ出納區域ニ屬スル分ヲ除ク（桃園廳、花蓮港廳、臺東廳各管內）
			基隆	臺北縣基隆堡基隆街土名石牌	臺北縣基隆支金庫管內
			新竹	新竹廳新竹一堡新竹街土名西門	臺北縣竹塹管轄ノ內基隆、金包里、瑞芳、頂雙溪ノ各支廳管內 新竹廳管內
			臺中	臺中廳員林堡中街土名臺中	臺中廳、南投廳各管內
			臺南	臺南縣臺南市	臺南縣、打狗支金庫ノ出納區域ニ屬スル分ヲ除ク（旗後廳各管內）
			打狗	臺南縣管轄ノ內打狗、岡公店、楠梓坑、瓜山ノ各支廳管內及阿緱廳管內	
			宜蘭	宜蘭縣末城堡宜蘭街土名良門	宜蘭廳管內
			澎湖島	澎湖廳東西瀛堡媽宮街土名東門	澎湖廳管內

農商務省告示第四百二十四號

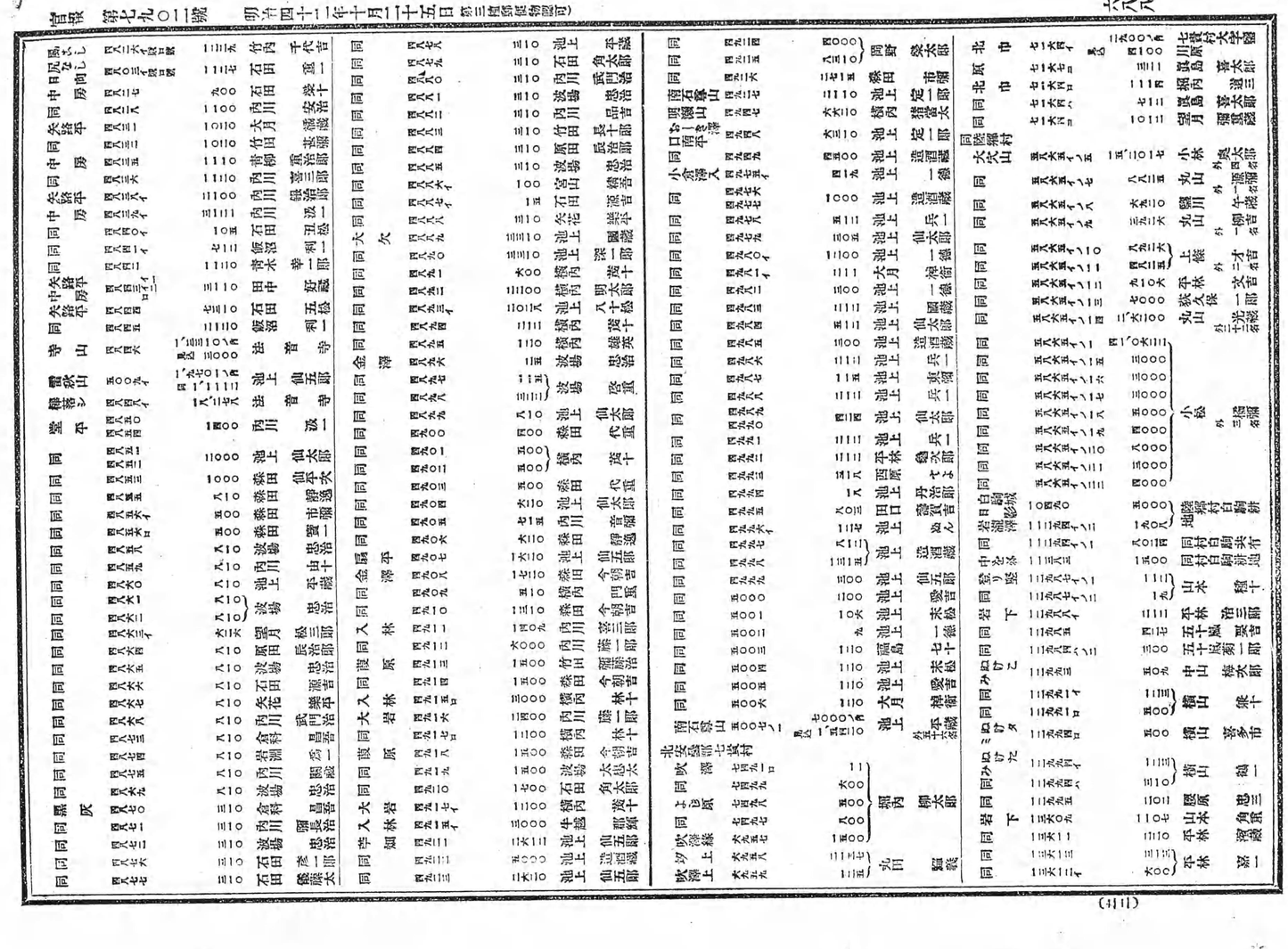
森林法ニ依リ左記ノ儲所ヲ保安林ニ編入ス

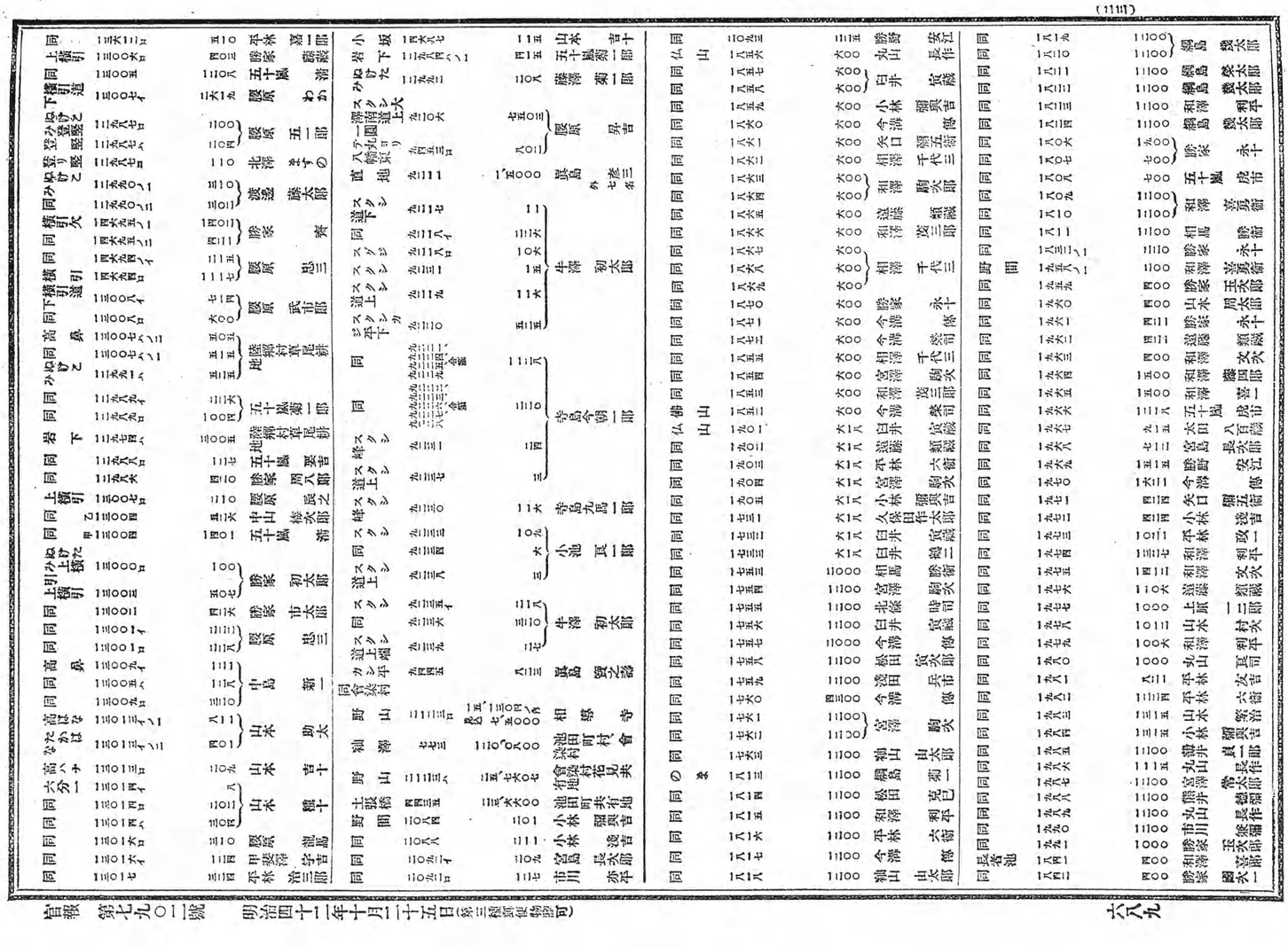
明治四十二年十月二十五日　農商務大臣　男爵大浦兼武

字	地番	面積	所有者
長野縣東筑摩郡上川手村			
南原	五三一四	段歩 一、七三〇五	長崎　要一郎 外一名
大林	五三三八	二、六二〇	今村　昌澄
同	五二一七イ	五九一四	花村　源藏
同	五二三九 五二四〇 五二四一	三一二	拳林　貞夫
同	五二四二	三五〇〇	花村　惣十郎
同	五二四三	一、六一五	西牧　桂太郎
同	五二四四	二一九	望月　國彌
上手	五二一六	九八一二	山崎　市眞次
大林	五二一六	二一〇〇	花村　啓一郎
上手	五二一五	二一〇〇	花村　藤十郎
同	五一八七イ	一、四〇〇	背木　宇藏太
同	五一八六イ	四七〇〇	宮澤　一二
同	五一八五	一、四四一七	風越　同
篠八	七〇六六	七〇一五	長崎　順次
シノハヂ	七〇六二	一一	田澤　共有
篠八	七〇六一イ	八一三	
同	七〇六一ロ	一、〇六一〇ノ内 三一二五	長崎　順次
同	七〇六〇	二、〇〇〇ノ内 九一〇	
同	七〇六三	二五	
城山	二一九四イ	四八、八八一四ノ内 三〇、〇〇〇	
ホラキ山	二一九五	二、〇〇〇	光共有
長峯	二五七三一	五一、五〇〇ノ内 二五、五〇〇ノ内	
同	二五七二一	四七、五〇〇ノ内 二一、八七〇〇	
畔尾	三一九三	一一	長光寺
山岸	九九一イ	五、五〇二	丸山　悟
本林	四九八一ニ	四六二二	宮島　繁一
同	四九八一ロ	五一〇三	長崎　仙太郎
同	四九八〇	八八〇八	舉林　繁喜代
同	四七一イ	一、三五二四	上條今朝次郎
新林	四六〇	四〇二六	舉林　愛治郎
同	四六一	八二一〇	宗林　寺
同	二九〇	八六二一	山崎　喜次治
三角	二九九	二二〇〇	田澤　共有
澤口	二九四ノ二	七二九四ノ二	
城裏	二七九	一一七、六二〇一	
同中川手村	四六〇六	七〇二	關　房吉
そうら	四六〇五	一、四七二〇	望月　房治郎
柳園	四六〇四	一、四二一四ノ内 一二七〇	
大原べり	四二八〇一	四七、五〇〇ノ内 一二七〇	大足區遊園區

字	地番	面積	所有者
風越	四七二四一	五一〇	原田　長治郎
同	四七二六	九一〇	岩淵　德五郎
同	四七二七イ	二一〇	小林　傳
風ふし	四七二九	九一〇	波場　源一郎
同	四七三〇	九一〇	横石　佐七郎
同	四七四一	二一〇	內川　汲一
同	四八一六	二一〇〇	增澤　喜代吉
同	四八一一	二一〇〇	石田　勝重
同	四八一二	二一〇〇	內川　勝一郎
同	四八一三	二一〇〇	內川　關藏
同	四八一四	二一〇〇	內川　藤吉
同	四八一五	二一〇〇	大月　嘉源治
同	四八一六	一〇一一	石田　廣吉
同	四八一七	二一〇〇	增澤　武十郎
同	四八一八	四〇〇〇	石田　與惣平
同	四八一九	四〇〇〇	內川　友三郎
同	四八二〇	九二〇	石田　條吉
同	四八二一	二一〇〇	大月　橘藏
同	四八二二	二一〇〇	增澤　龍治郎
同	四八二三	二一〇〇	石田梅千一郎
同	四八二四	二一〇〇	內川　彌長治
同	四八二五	二一〇〇	竹內　彌藤治
同	四七八八	二一〇	內川　汲一
同	四七八九	二一〇	竹田　彌藤治
同	四七九〇	四七二〇	倉料　元三郎
同	四七九一イ	四四〇三	小松　勘三郎
同	四七九二	二一六	內川　武門治 外一名
同	四七九三	四〇二五	岩淵　牛十郎
同	四七九四イ	五二二六	內川　武門治 外一名
同	四七九九イ	四七九五	石田　澄一郎
同	四七九七	五二五	石田　由平
同	四七九九	二一〇	內川　武門治 外一名
同	四八〇九	二一〇	竹田　彌藤治
同	四八〇八	二一〇	石田　由平
同	四八〇七	二一〇	石田　彌五郎
同	四八〇六	二一〇	倉料　元三郎
同	四八〇五	二一〇	小林　勘三郎
同	四八〇四	二一五	內川　汲一
同	四八〇三	二一〇〇	倉料　元三郎
同	四八〇二	六〇〇〇	小松　勘三郎
同	四八〇一	六四〇二	內川　寶治郎

許可 7902 号





第7902号　本文

同　同　一六圓　一四〇〇　一四〇〇　一六圓　同　同
同　同　一五圓　一三〇〇　一一〇〇　一五圓　同　同
　　　

「下野國那須郡東那須野村ノ項ノ次ニ
下野國那須郡金田村大字寶積寺（字松原、字日野、字新開、字西原、字下原、字上原ノ各一部）
下野國那須郡烏山町（舊ノ烏山町ノ外）

遞信省告示第千三十一號

明治三十九年九月遞信省告示第三百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十二年十月二十五日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域及電話料

一通話ノ電話呼出料	寶積寺東京間	金三十錢	一通話ノ電話呼出料
寶積寺宇都宮間	金二十錢	喜連川黒羽間	金十五錢
寶積寺大田原間	金二十錢	喜連川矢板間	金十五錢
寶積寺黒羽間	金二十錢	喜連川烏山間	金十五錢
寶積寺西那須野間	金二十錢	喜連川烏山東京間	金二十五錢
寶積寺矢板間	金十五錢	烏山宇都宮間	金二十五錢
寶積寺氏家間	金十錢	烏山大田原間	金二十五錢
寶積寺喜連川間	金十錢	烏山黒羽間	金二十五錢
寶積寺烏山間	金十五錢	烏山西那須野間	金二十五錢
喜連川東京間	金三十五錢	烏山矢板間	金十五錢
喜連川宇都宮間	金十五錢	烏山氏家間	金十五錢
喜連川大田原間	金十五錢		
喜連川黒羽間	金十五錢		

日英博覽會事務局告示第十五號

日英博覽會普通商品ノ出品物及自營出品ニ關スル建築裝飾材料、陳列箱輸送規程左ノ通相定ム

明治四十二年十月二十五日　日英博覽會總裁　男爵大鳥圭介

日英博覽會普通商品ノ出品物及自營出品ニ關スル建築裝飾材料、陳列箱輸送規程

第一條　日英博覽會ニ出品スヘキ普通商品ハ明治四十二年十月日英博覽會事務局告示第十四號ノ區別ニ從ヒ各陳列館毎ニ各別ニ荷造ヲ爲シ他館ニ陳列スヘキモノト混同スヘカラス但シ特別室建設者又ハ自營出品人ハ出品物タルト建築裝飾材料及陳列箱タルトヲ問ハス指令書ノ指定シタル館別ニ依ルヘシ

特別室建設者又ハ自營出品人ハ成ルヘク其ノ出品物ト建築裝飾材料又ハ陳列箱トヲ區別シテ荷造スヘシ

第二條　出品人ハ發送ノ際輸送荷物ニ其ノ所屬館ノ出品證票紙ヲ貼付スヘシ」

前項ノ出品證票紙ヲ貼付セサルトキハ運賃ノ割引ヲ受クルコトヲ得ス

出品證票紙ヲ貼付セス又ハ所屬館別ヲ誤リタルトキハ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任スヘシ

第三條　出品證票紙ハ事務局ニ於テ之ヲ作製シ荷物發送ノ際地方長官ヲ經テ出品人ニ交付スルモノトス

地方長官ハ輸送荷物ノ箇數ニ應シ廳印押捺ノ上出品證票紙ヲ出品人ニ交付スヘシ

第四條　輸送荷物ハ左記日時ノ便船ニ依リ輸送スヘキニ依リ遞クモ出航四日前ニ輸出港ニ到達スル樣發送スヘシ

建築裝飾材料及陳列箱	發送	明治四十二年十二月八日	門司
	同	十二月十一日	明治四十二年十二月十三日
	同	十二月二十二日	同十二月二十七日
出品物	同	十二月八日	同十二月十三日
	同	十二月十一日	同十二月十七日
	同	十二月二十二日	同十二月二十七日
	明治四十三年一月五日		明治四十三年一月十日
	同	一月十九日	同一月二十四日
	同	二月二日	同二月七日

第五條　事務局ハ必要ト認メタルトキハ輸出港ニ於テ又ハ日英博覽會會場到達後荷物ノ點檢ヲ爲スコトアルヘシ

前項ニ依リ點檢シタル荷物中ニ許可セサル物品又ハ許可シタル數量以上ノ物品アルコトヲ發見シタルトキハ事務局ハ出品者ハ特別室建設ノ許可ヲ取消シ出品人ノ費用ヲ以テ荷物ヲ藏入シ返送シ其ノ他適宜ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ此場合ニ於テ出品人ハ異議ノ申立ヲ爲シ又ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

正誤

一昨二十三日官報勅令第二百六十六號別表中六三八頁下段稅務署名ノ欄松住ハ松任遞信省告示第千二十一號中番號一二九三八ノ船名金毘羅丸ハ金刀毘羅丸同一二九五一ノ信號符字LKPTハLKPJノ誤ニ付

○敍任及辭令

○明治四十二年十月二十三日

敍勳三等授旭日中綬章

任主獵官

敍高等官六等	正五位勳四等	高橋	新吉
敍高等官五等	正五位子爵	保科	正昭
陞敍高等官六等	遞信技師正七位	澁澤	元治
陞敍高等官五等	遞信技師正七位	廣部德三郎	
陞敍高等官六等	遞信事務官從七位	村上	恭一
陞敍高等官六等	通信事務官補從七位勳六等	村田信太郎	
陞敍高等官六等	通信事務官補從七位勳七等	坪内	秀

陞敍高等官六等　海事局技師從七位　德永　格
陞敍高等官六等　海事局技師從七位　五郎
陞敍高等官六等　海事局技師從七位　腹巻　賢三
陞敍高等官六等　海事局技師從七位　横山　要三
陞敍高等官六等　地方海事局技師（船舶檢查官）　竹下　爲志
陞敍高等官七等　通信事務官補從七位勳五等　松井　房藏
陞敍高等官七等　通信事務官補正八位勳六等　沼鋼　次郎
陞敍高等官七等　通信事務官補從七位勳七等　村岡彌八郎
陞敍高等官七等　通信事務官補正八位　松田秀太郎
任臺灣總督府農事試驗場技師　恒春熱帶植物試驗場技師　長嶺林三郎
敍高等官六等　臺灣總督府參事官正七位　楠　正秋
陞敍高等官五等　佐賀縣事務官從六位勳六等　窪谷逸次郎
陞敍高等官五等　德島縣事務官正七位勳六等　横田　鄉助
陞敍高等官五等　高知縣事務官正七位　飯尾藤次郎
陞敍高等官六等　廣島縣事務官從七位　國光　五郎
德島縣立農學校教諭正七位　草野　正行
宮崎縣立農學校長兼宮崎縣立農學校教諭ニ任ス　外務省參事官　佐分利貞男
（各通）　東京帝國大學工科大學教授工學博士　伊東　忠太

御用有之清國ヘ被差遣（十一月二日內閣）
陸軍砲兵大尉　土屋　隆博
補野砲兵第三聯隊中隊長（十月二日陸軍省）
陸軍砲兵大尉　小笠原國彥
免本職第一師團經理部附被仰付
第一師團經理部部員陸軍二等主計　櫻井　芳彰
免本職野砲兵第十八聯隊附二等主計勤務心得兼第一師團經理部部員被仰付
免本職第一師團經理部部員
第一師團經理部附被免
補東京陸軍兵器支廠附
免本職補騎兵第十二聯隊附
補名古屋陸軍兵器支廠附
免本職補歩兵第七聯隊附
免本職第三師團經理部附被仰付
免兼職
兼補陸軍運輸部大連支部附
第九師團經理部附被免
補歩兵第六十九聯隊附
補騎兵第十五聯隊附
免本職補輜重兵第十二大隊附
免本職補騎兵第二聯隊附
免本職補騎兵第二聯隊附被免

（各通）
休職被仰付
停職被仰付
（各通）
臨時被仰付
退役被仰付（以上十月二日）
（同）
韓國ヘ出張ヲ命ス（十月三日文部省）
茨城縣下ヘ出張ヲ命ス
宇都宮郵便局區內ヘ出張ヲ命ス（以上十月二日遞信省）

○宮廷錄事

○行幸仰出　來ル十一月三日天長節ニ付キ午前八時三十分御出門青山練兵場ヘ行幸親兵式ヲ行ハセラルヽ旨仰出サレタリ但シ當日雨天又ハ式場泥濘ナレハ行幸アラセラレサル御都合ナリ御道筋左ノ如シ

正門ヨリ櫻田門ヲ出テ司法省前通虎ノ門跡ヲ出テ右ヘ葵町ヲ經テ赤坂溜池町通赤坂田町四丁目十二番地角左ヘ新町三丁目角右ヘ一ッ木町通左ヘ青山通青山離宮ニ沿ヒ右ヘ左ヘ青山練兵場

○勅使差遣　昨二十四日故靜香閒甍侯從一位勳一等贈嶽實愛葬送ニ付キ一昨二十三日午後一時勅使侍從伯爵清水谷實英其ノ參向常陸神饌並ニ祭資金三千圓ヲ賜ヒ左ノ御沙汰ヲ傳宣セリ又皇后陛下ヨリ金千圓ヲ下賜ヒタリ

四朝ニ歷仕シテ力ヲ王政復古ニ盡シ勤勞職ヲ奉シテ繼新ノ　皇謨ヲ翼贊ス其ノ勳績ヲ念ヒ此ノ遽亡ヲ悼ム宜ク祭資ヲ賜ヒテ弔慰スヘキ旨　御沙汰候事

昨二十四日故陸軍大將正二位勳一等功二級子爵小川又次葬送ニ付キ同日午前十時勅使トシテ侍從河鰭公篤ヲ同人邸ニ差遣ハサレ白絹二匹ヲ下賜ヒタリ

○皇族發著　職仁親王妃智惠子殿下ハ本月二十二日御出發宮城縣下ヘ御旅行アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○露國大使館外交官補轉任　在木邨駐國大使館外交官補ブラトン、ツアクレウスキー在伯林同國大使館外交官補ニ轉任セシ旨同國大使ヨリ本月十四日附ヲ以テ通知アリ

○應聘　稅務監督官松崎俊造ハ一昨二十三日在官ノ儘駐國政府ニ聘用セラレタリ

○官吏發著

發　二十一日　陸軍三等獸醫　今井　兼道
陸軍三等獸醫　萩野　由之
東京帝國大學文科大學博士　北畠　義弘
遞信技師　橫山英太郎
陸軍砲兵第十八聯隊附陸軍一等主計　平野辰三郎
京都衛戍病院附陸軍一等軍醫　井上榮太郎
山口衛戍病院附陸軍三等藥劑官　牧野　三郎
歩兵第六十九聯隊附陸軍三等主計　長屋　信三
陸軍砲兵中尉　鈴木喜次郎
陸軍砲兵中尉　宇野高太郎
第十六師團軍醫部部員陸軍一等軍醫　松下　俊雄
陸軍三等藥劑官　岡崎　信夫
陸軍一等主計　高田半三郎
陸軍二等主計　田中　蘇一
陸軍一等主計　田中庄次郎
陸軍一等主計　田中庄次郎
陸軍二等獸醫　齋藤　拔
陸軍三等獸醫　岡野　行文
陸軍三等獸醫　安藤　驛

許可 7902 本文

明治四十二年十月二十五日　官報　第七九〇二號

第7902号　本文

○官廳發著各港灣ニ於ケル軍艦發著ノ知ラセ

艦名	月日	艦種	發	行先
磐手	10.13	裝甲巡洋艦	吳	
磐手	10.13	裝甲巡洋艦	吳	

○學事

○臨時教員檢定試驗

本月十八日ヨリ二十日マデ三日間東京帝國大學法科大學法律學科教室ニ於テ行フ

○臨時教員檢定試驗施行ノ件

本月十八日ヨリ二十日マデ三日間東京帝國大學法科大學法律學科教室ニ於テ臨時教員檢定試驗ヲ施行ス

○天氣豫報

○東京地方天氣豫報

○雷雨警報

○風雨警報

○電話線故障

○廣告

○購買入札

明治四十二年十月二十五日　中部鐵道管理局

明治四十二年十月二十五日　大阪砲兵工廠門司兵器製造所

明治四十二年十月二十五日　陸軍技術審査部

明治四十二年十月二十五日　陸軍被服本廠

明治四十二年十月二十五日　軍馬補充部六原支部

明治四十二年十月二十五日　舞鶴海軍工廠會計部

明治四十二年十月二十五日　第一師團經理部

明治四十二年十月二十五日　吳海軍工廠會計部

明治四十二年十月二十五日　岐濃津監獄

明治四十二年十月二十五日　遞信省經理局

第7902号　本文

遞信省經理局大阪出張所

明治四十二年十月二十五日

横濱郵便局

明治四十二年十月二十五日

〇入札拂下

東京砲兵工廠

明治四十二年十月二十五日

第四師團經理部

明治四十二年十月二十五日

第五師團經理部

明治四十二年十月二十五日

第7902号　本文

○商業登記

第7902号　本文

第7902号　本文

第一九條　每入札ニ金五百圓以上ノ保證金ヲ納メサルヘカラス
第二〇條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第二一條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第二二條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第二三條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第二四條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第二五條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第二六條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第二七條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第二八條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第二九條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三〇條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三一條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三二條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三三條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三四條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三五條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三六條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三七條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三八條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第三九條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四〇條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四一條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四二條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四三條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四四條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四五條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四六條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四七條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四八條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第四九條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五〇條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五一條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五二條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五三條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五四條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五五條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五六條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五七條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五八條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第五九條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六〇條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六一條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六二條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六三條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六四條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六五條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六六條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六七條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六八條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第六九條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七〇條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七一條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七二條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七三條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七四條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七五條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七六條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七七條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七八條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第七九條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八〇條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八一條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八二條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八三條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八四條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八五條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八六條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八七條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八八條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第八九條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九〇條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九一條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九二條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九三條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九四條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九五條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九六條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九七條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九八條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第九九條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス
第一〇〇條　入札人ハ入札ノ際入札金額ノ百分ノ五ニ相當スル金額ヲ保證金トシテ納メサルヘカラス

明治四十二年十月二十五日

東京市麹町區八重洲町一番地

株式會社日本勧業銀行